

音楽科学習指導案

単元名：

「曲のやまをかんじって歌おう」

(全○時間扱い中 第2時)

授業日時 2019年8月28日(水) 第5校時

授業学級 3年西組

授業会場 音楽教室

授業者

指導者

(1) ねらい

児童は、曲のやまを探して、感じて歌うことができるようになる。

(2) 授業のポイント

- ・大半の子ども達が、音程を気にして歌った。【前時までの子どもの様子】
- ・グループで話し合っ曲のやまを探し、練習する活動を通して、曲のやまを感じて歌うことができるようにする。【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◎児童の反応・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 復習	一回歌う ○「前は曲にやまがあるって話したけど、やまってなんだっけ？」 ◎「盛り上がる所!」「クライマックス」	4分
	2. どこ 問題：曲のやまってどこだろう	○「ふじ山の曲のやまってどこかな」 ◇出てきづらそうだったら、もう一度歌う等、反応を見て対応する ◎「さーまーを一のどこ」 ○「どうしてそう思った？」 ◎「どんどん高くなっていくからから」 ○「音程に注目したんだね」 ○「別の所だと思った人？」 ○「△△くん、どこだと思った？」 ◎「ふじは日本一のやまのところ」 ○「ここはでも“ふじは”と“日本一の”と“やま”とあるよね？全部？」 ◎「“日本一の”じゃない？」 ○「なんでそう思った？」 ◎「ふじ山が日本一だって言っていてクライマックスみたいだから」 ○「歌詞の意味に注目したんだね」 ○「音程と歌詞の意味に注目したら曲のやまが見つけられそうかな？」 「他にもある？」 ◇ほかにも出てきたら採用する。児童から出てきた意見で見通しを持つ。	10分

	【学習課題】曲のやまを探して、歌ってみよう		
展開	3. グループで曲のやま探し・練習	○「グループで曲のやまがどこか探そう」 「曲のやまを意識してグループで歌ってみよう」 ◇机間指導でグループの曲のやまを把握。 ◇グループで歌うときに工夫があったら認める（◎ここ強く歌ってみよう、◎歌詞を感じながら歌ってみよう） ◇伴奏を流しておいて、曲からヒントを得たり、グループのタイミングで練習できるようにする	16 分
	4. 発表	○「発表してくれるグループ」 ○「このグループの曲のやまはどこ？」 「どうしてそう考えた？」 ★全体を通して iPad を用いて伴奏する	10 分
		【評価（対象）】曲のやまを探して感じ取って歌うことができ	
終末	5. まとめ	○「ワークシートに感想を書こう」 ○「グループとしてのやまは知れたから、自分の思うやまもあったらワークシートに書いておいてね」 ○「書いた感想を発表してくれる人」 ◎「自分たちのグループはここがやまだと思ったけど、□□さんたちのグループのやまも面白いと思った。」 ◎「曲のやまを考えながら歌うことが出来た。」 ○「やまっていってもいろんなところがやまになりそうだね」	5 分